

2012年11月26日

早稲田大学 長島啓記

教職大学院の教育課程の見直しについて

1 「共通科目」の履修について

「共通科目」の履修範囲、取得単位数について、現職教員とストレートマスターは区別する。ストレートマスターは、有力な新人教員に求められる資質能力という観点から、すべての領域（現行は5領域）を必修とする。現職教員は、それぞれの課題に応じて一定の領域を必修とする。取得単位数は、ストレートマスターの方を多くし、現職教員は少なくするというかたちで、区別する。

その場合、選択科目の取得単位数は、現職教員の方が多くなり、ストレートマスターは少なくなる。

2 教科専門の科目について

早稲田大学大学院教職研究科のストレートマスターは、中学校・高校教員希望者が多く、小学校教員希望者は少ない。そのこともあり、認証評価において「中学校、高等学校の教科の専門性を高めるためのカリキュラムの充実を検討する必要がある」と指摘され、また学生によっては連携協力校から授業力の不足を指摘される場合がある。しかし、教科専門の科目を教職研究科のカリキュラムに設置することを検討した場合、すべての教科について科目を用意することは、人力的にも財政的にもむずかしい。また、教育学研究科との違いも不明確になる。

3 多様なコース、履修モデルの設定について

選択科目をコース化することは、科目数や教員配置の点で、私学にとってはむずかしい。

4 教職大学院と一般大学の修士課程について

教職大学院に教科専門の科目を導入し、一般大学の修士課程に「教職実践に関する科目」（仮称）を導入する場合、二つの方向が充実すればするほど両課程の違いがあいまいになってくるし、二つの方向への展開が不十分に終わると両課程にとって中途半端なものになってしまう恐れがある。

5 教育実践研究報告書（仮称）の作成と発表について

教職大学院の特徴は、「理論と実践の往還」にある。しかし、これをどのように担保するかについて明確な合意はない。学生は「学校における実習」で課題を発見し、それを自らの課題として設定し、各専門領域における様々な理論を学びながら、その課題の解決に向けて取り組んでいく。そのような学び、実習における一連の取り組みを適切に指導していく「演習」の時間が必要である。学生は、この「演習」において論文（報告）を作成していくなかで、実践についての省察を十分に行うことができるようになる。この場合、「演習」科目の評価・単位と「学校における実習」の評価・単位との関連について、検討する必要がある。

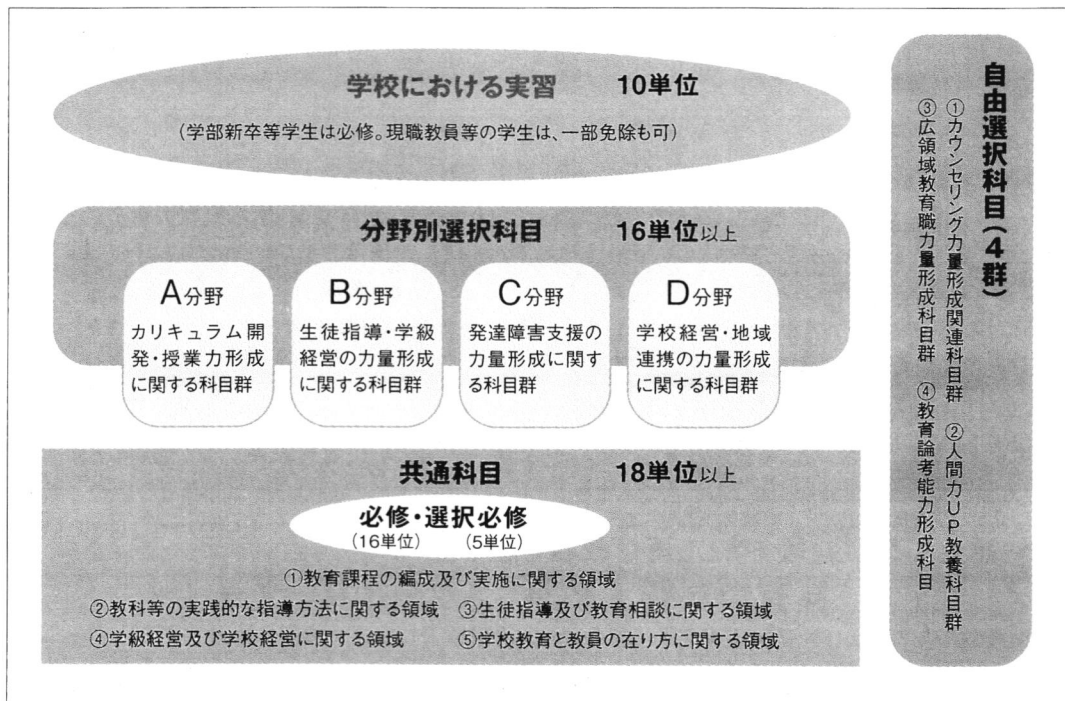
カリキュラムの特徴

本研究科は、すべての学生が履修する「共通科目」5領域を基礎として、本研究科の中心的な学問分野を活かした「分野別選択科目」、「学校における実習」を設定しました。

「分野別選択科目」には、個々の学生がさらに深く探究することで教育専門職としての力量形成に資する科目を設定しています。これは得意分野の学修を発展させることをねらいとしており、「共通科目」と関連づけつつこれを補完することを意図したものです。さまざまな教職キャリアを背景とする学生の学問的・実践的関心と科目内容の特質に由来する必要性を両立させることを想定して、4分野21科目を設置しました。

「学校における実習」は、授業力、教師力の総合的な実習としての「学校臨床実習Ⅰ」、インターンシップの形式で特定の課題について一定の期間実習する「学校臨床実習Ⅱ」、各自の教師力形成の課題を追究する「学校臨床実習Ⅲ」という3種類で構成されます。

さらに、広い教養と豊かな人間力を形成するための「自由選択科目」を設定し、全体として重層的なカリキュラムを構成しています。



●教育方法の特徴

本研究科は、基本理念のひとつとして掲げた社会的連携能力の育成を図るために、さまざまな教職キャリアの学生が協働して学び、自らの資質を高め合うことをめざしています。このような学びの場を有効に機能させるべく、受講する学生を学部新卒者と現職教員学生とに分けることなく、混成でクラス・グループを編成し、演習を課すなどの方法をとります。学部新卒者は、現職教員学生からの助言を受けながら学ぶことができます。現職教員は助言を通じて、同僚教員との指導的協働について学ぶことになります。

さらに、教育技術や生徒指導など教育実践と直接的な関わりが強い科目に関しては、研究者教員と実務家教員がチームを組んで担当することで理論と実践の融合を図ります。

■修了要件

| 科目区分 | 単位数 | 要件 |
|------------------|------|------------------------------|
| 共通科目 | 18単位 | 必修科目10科目16単位、選択必修科目2単位 |
| 学校における実習 | 10単位 | 3科目10単位 |
| 分野別選択科目 | 16単位 | 16単位 |
| 上記科目もしくは自由選択科目より | 2単位 | |
| 計 | 46単位 | ただし、1年間に履修できる単位数は39単位を上限とします |